



# 神奈川県東ロータリークラブ

## KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2016-2017年度 第25週報 No. 1961 2017年(平成29年) 1月13日 第1961回 例会記録 1月20日発行

### 本日〈1月20日〉のプログラム

「神奈川RC・神奈川東RC合同賀詞交歓会」

〈〈本日のBGM〉〉  
アルバム「ムード・ピアノ・デラックス」より



PHOTO 加野亮一 会員

**司会** 白鳥 厚夫 副幹事

### 特別行事

◆新年の乾杯 矢野 修二 会長エレクト

**点鐘** 植田 清司 会長



**斉唱** 「君が代」「奉仕の理想」  
ソングリーダー 澁谷 高弘 会員

**四つのテスト** 横溝 亘 職業奉仕委員長  
(第1例会のみ)

**ゲスト紹介** ガンスフ・ゲレル 様 (米山奨学生)

2016-2017年度 RI会長 ジョン F. ジャーム



第2590地区 ガバナー 高良 明

会 長 植田 清司	会 計 白井 康夫
会長エレクト 矢野 修二	副 会 計 河野 明光
副 会 長 西山 潔	S A A 田中 龍太郎
副 会 長 伊東 英紀	副 S A A 茂木 知子
幹 事 小山市 康	副 S A A 吉田 隆男
副 幹 事 白鳥 厚夫	クラブ会報 加野 亮一

**例会日** 毎週金曜日 0:30~1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)  
**例会場** ホテルキャメロットジャパン  
**URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>  
**E-mail** [kerc@beach.ocn.ne.jp](mailto:kerc@beach.ocn.ne.jp)

**事務局** ホテルキャメロットジャパン内  
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555  
**創立記念日** 昭和51年5月29日

◆ホテルへ謝礼贈呈



入会記念日祝 山木 幹夫 会員 (1月8日)



◆米山奨学金贈呈 米山奨学生 ガンスフ ゲレル 様



会長報告 植田 清司 会長

- ・第2590地区高良明ガバナーより新年のご挨拶が届いておりますので、回覧致します。
- ・神奈川県消防署より消防出初式協賛金のお礼状と当日配布されましたパンフレットを頂いておりますので回覧致します。
- ・米山奨学会より青柳紀会員に、第14回メジャードナーの感謝状が届いておりますので贈呈致します。

誕生日祝 石川 正三 会員 (1月13日)



結婚記念日祝 友添 辰也 会員 (1月11日)  
加野 亮一 会員 (1月14日)



幹事報告 小山 市康 幹事

- ・当クラブ宛に届いておりますクリスマスカードと年賀状を回覧します。
- ・次週、1月20日(金)は神奈川県との合同賀詞交歓会となります。 点鐘 18時
- ・R I より2016年度版手続要覧の購入申込みが来ております。申込み書を回覧致しますので購入を希望される方は氏名を明記願います。なお、価格につきましては1冊700円です。
- ・Rレートが今月は変更になります。\$ 1 = 106円 → 116円

◎例会変更のお知らせ

- \*横浜保土ヶ谷ロータリークラブ
- 2月7日(火) 休会
- 14日(火) 夜間例会

## 委員会報告

雑誌委員会 委員 石川 正三

委員会では、今年度の事業計画の一つとして「友」で毎月掲載されている「クラブを訪ねて」の企画に立候補することを考えています。この取材を受けるにはクラブとしてかなりの準備も必要ですので、まず理事会の承認を得なければなりません。そこで皆様、1月と2月の「友」に掲載される「クラブを訪ねて」の欄をお読み頂き、うちのクラブが自慢出来る“ウリ”は何かを考えて頂きたいと思っております。3月以降に皆様の意見を伺い、この計画を進めたいと考えています。

## 出席報告

但野真実子 出席委員長

会員総数	50名	(30+20)名	
出席会員数	39名	(25+14)名	
出席率	88.64%		
ゲスト	1名	ビジター	0名
前回補正後	91.30%	前々回補正後	86.67%

## スマイルボックス

田中龍太郎 SAA

石川正三君 おめでとうございます。早々に誕生日祝いをありがとうございます。今年もヨロシク。

加野亮一君 結婚して22年になりました。お祝い、ありがとうございます。

友添辰哉君 結婚記念日祝いのお花、ありがとうございました。

山木幹夫君 入会記念日のお祝いをありがとうございます。新年を迎え、本年も良い年であることを祈ります。

植田清司君 皆様、明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくご支援、ご協力、お願い致します。

青柳 紀君 酉年だ 去年の負けを トリ戻す！・・・ぞ。ますます元気！！

岩澤利雄君 明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願い致します。

月山 勇君 新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。“そこで一句が 捻り出す 今年も苦になりそう”

山本 登君 今年も遅刻、早退で始まりました。ご容赦下さい。

江森国一君 皆様、今年もよろしくお願い致します。山本先生、大変お世話になりました。

伊東英紀君 明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

河野明光君 新年おめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

飯田泰之君 明けましておめでとうございます。今年も良い年でありますよう祈念します。

山田正憲君 明けましておめでとうございます。今年も元気に頑張らしましょう。年末に、我が家の梅が咲いてしまいました。

小山市康君 明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈り致します。楽しい一年にしたいですね。

渡邊 淳君 2017年酉年のスタートに際し、当クラブの益々の活性化と会員皆様のご健勝をお祈り申し上げます。今年も楽しくご交誼願います。

西山 潔君 新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈り申し上げます。

澁谷高弘君 明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈り申し上げます。

長井 章君 本日、早退させて頂きます。

天野公史君 ①明けましておめでとうございます。年明けの穏やかさが続く年でありますように。②米山奨学金の寄付、宜しくお願い致します。

横溝 亘君 皆様、本年もよろしくお願い致します。

佐藤勝彦君 新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ指導のほどよろしくお願い致します。

1月13日	22件	84,000円
本年度累計		1,080,488円

## 新年挨拶

### ◆会長 植田 清司

皆さま、明けましておめでとうございます。今年の三が日はとても暖かく穏やかなお正月を迎えられました。今年一年このお正月のように穏やかな一年になると良いと思っています。

皆さまのご協力によりまして、任期の半分を務めることが出来ました。会員皆さまのご協力に感謝申し上げます。

昨年をふり返ってみますと、8月には、「横浜の花火を屋形船で観る会」を開催致しましたところ、多くの会員・家族の皆さまが参加され、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

10月には、反町公園で開催された神奈川区民まつりで、「スリランカに井戸を贈ろう」を合言葉に募金活動を致しました。会員・家族をはじめワンワールド・ワンピース協会、同志社女子大学、京都光華女子大学のボランティアの学生さんの皆さまが参加され、多くの募金を集めることが出来ました。その結果、今年度は井戸2本・トイレ2基をスリランカへ寄贈することが出来ました。

11月には、横溝職業奉仕委員長の手配により、横浜市環境事業局鶴見資源化センター・東京ガステクノステーションへの職場訪問が実施されました。12月には、佐藤親睦活動委員長を中心に「年忘れ家族会」が開催され、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。6月までのあと半年、いろいろな行事を予定しています。1月には、神奈川ロータリークラブとの「合同賀詞交歓会」が私たちのクラブが当番となり開催する運びとなっています。また、地区行事としてロータリーみなとみらいチャリティーマラソン大会が予定されており、私たちのクラブから何人が参加される予定です。4月には、今までの

IMと少し形を変えた、「経営大講演会」が予定されています。また、台北滬尾ロータリークラブへの訪問も予定しています。年度の後半もまだまだ多くの行事を予定しています。

今年度の会員増強の目標を3名としています。10月には、大久保由美子さんが入会され、私達の仲間に加わりました。今年の4月には、1名の入会が予定されています。まだ半年ありますので、一人でも多くの会員増強に努めていきたいと思っていますので、皆様のさらなるご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、今年一年が皆さまにとって、よりよい年になりますようご祈念致しまして、新年の挨拶と致します。

#### ◆副会長 西山 潔

新年明けましておめでとうございます。皆様方に於かれましては穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中はロータリーの事業に関しましてひとかたならぬ御指導、御協力を賜りまして心より感謝申し上げます。

さて、「丁酉年（ひのととりどし）」の本年は、「積重ねが結実を迎える年」、そして開運の要点は「穏やかで強固な意思」だそうです。毎日の始まりに日の出と共に時を告げる酉は大変縁起が良く、運氣や客人を取り込み商売繁盛に繋がる酉と言われているそうです。「酉」は成熟した状態を表し決断力と勇敢な行動力を発揮し、如何なる困難、障害、妨害も克服し最後までやり抜く強固な意志力を発揮するとのこと。自分の力に過信や慢心することなく、慎重に周囲の皆と力を合わせて助け合って進んで行く道こそが大事だそうです。そこで、本年も執行部一丸となって会員の皆様とお互い助け合い、今まで築いて来ました経験を生かし事業を執行していこうと考えております。

本年度R I会長のテーマは「人類に奉仕するロータリー」であります。人類への奉仕はロータリーの基本であります。そのことを再認識することは大変有意義であると思います。まさに原点に帰ると言うことは新たな出発の始まりであります。新たな始まりとなる当クラブ41周年目のテーマには持って来いであると確信しております。人類に奉仕の目的の為に我々が集まった大きな理由がこのテーマにあります。これこそがロータリーの真髄であると言うべきテーマであると考えます。このテーマを実践するにあたり植田会長は「熱意、誠実そして寛容」という会長の座右の銘ともいえるべき言葉で、クラブの奉仕活動を活性化させ、クラブを一つにまとめる様に方針を打ち出されました。副会長と致しまして、このR I会長テーマと植田会長のお言葉を大事にし、神奈川東ロータリークラブの良さを会員の皆様で考え直すのいい機会ではないかと考えております。会長の補佐とクラブ奉仕委員会の委員長としまして、残り6カ月誠心誠意職務に専念することを肝に銘じております。

最後になりましたが、会員の皆様には本年度の御指導、御協力を心よりお願い申し上げます。

#### ◆幹事 小山 市康

皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年の上半期については皆様のご協力により無事終了することができました。

今日から始まる下半期におきましても、皆様の変わらぬご指導ご協力を賜りたく、よろしくお願い致します。

皆様もご存知の通り、今回の規定審議会の内容はたいへん大きく変更がなされました。クラブ運営に大幅な柔軟性やクラブの裁量権が大幅に認められたものと言われています。国や地域、それぞれに独自の文化や慣習があり、それぞれの事情で判断すべきことになるでしょう。何を以て判断基準にするかは、どのクラブも迷っていることではないでしょうか。例会の形式や回数、入会金、出席など、まずは変更するのか？しないのか？です。地区でも今回の規定審議会に対して各クラブの対応状況を探っており、対応アンケート調査を行っているところです。また、当クラブの戦略計画委員会でも取り組みについて協議していますが、結論に至るにはそれ相当な期間が必要かと思われれます。

10月に明るいニュースがありました。大久保さんが入会されたことです。また4月にも入会候補者が固まっております。

第1回目（7月～10月）の各テーブルミーティングのテーマは「会員増強について」でした。その時の意見内容はズバリ増強に必要なことばかりでした。今後もその必要性を十分に意識して推進して行くことが非常に大事なことと思います。また、今回の規定審議会にリンクしている大事なポイントでもあり、クラブの維持また発展を望むなら、会員増強はクラブを上げて取り組んで行かなくてはならないと思います。

反町公園の区民まつりに参加し「1年に1日は皆で汗を流そう」を合言葉に、継続事業としてスリランカ支援を続行しております。石川P Pのスマイルレポートにありましたように、1月に同志社女子大学の「かたつむりの会」が文部科学省から表彰されるようです。また、今年度もフェリス女学院からこの12月に英訳絵本を預かってきました。翻訳に携わってきた担任の柳沢先生が、残念なことに今年度限りで退職されるそうです。後任の先生に引継いで下さるとのことをお聞きし、たいへん嬉しく思いました。また、12月の卓話で紹介され、前年度創立40周年記念事業の1つであった「B-SKY FES」も引続きの支援事業となります。今月29日に開催されますので、たくさんのご参加をよろしくお願いいたします。

8月19日に樋口ガバナー補佐を交えての第1回目のクラブ協議会を開催しました。9月2日には高良ガバナー公式訪問で卓話をいただき例会終了後に懇談会が開催されました。忌憚のない意見交換ができたことが印象的でした。出席された会員の方々、たいへん有難うございました。10月7日に社会奉仕のクラブフォーラム、11月4日に職業奉仕のクラブフォーラムを開催しました。各々が濃い内容で意見交換がなされました。が、残念なことは全般的に出席率が良くなかったことです。特に新会員の方々の出席が良くなかったことが気になるところです。下半期はクラブ協議会とクラブフォーラムが各2回ずつ開催されます。たくさんのご出席をよろしくお願いいたします。

雑誌委員会の提唱で「川柳同好会」が設けられ、9月に発会式が開かれました。12月9日にロータリーの友の柳壇の選者「てじま晩秋」先生に公開卓話としてお願いすることができました。また、1月20日神奈川RCとの合同賀詞交歓会には会のお力をお借りさせていただきます。当日よろしくお願いいたします。

地区第4グループの会長幹事会を2月17日に例会終了後に開催することから、クラブ協議会を3月17日に変更させていただきます。当日例会に会長幹事会出席の方々がメーキャップされます。よろしくお願いいたします。

今日からの下半期も盛りだくさん行事が控えております。至らぬ幹事ではございますが、クラブ運営に関して優秀な事務局の田中さんと連携を取り進めていきます。

本年も引き続き温かなご支援とご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

## ◆会計 白井 康夫

皆様、新年明けましておめでとうございます。2016年度会計を仰せつかっております白井です。

2016年度も半期を過ぎました。会計収支に関して言えば、おおむね当初の予算通り推移しているといえると思います。とはいえ、一般会計の収支についてはやや改善の余地があるかもしれません。引き続き経費の動きに注目して収支バランスの改善点の発見に努めたいと思います。

いまさら述べることでないかもしれませんが、収支バランスの改善は大きく分けて収入の増加と経費の削減の2つの要因によるところが大きいです。収入の増加を期待することは一概には難しいかもしれません。逆に経費の削減は日々の心がけで発見しやすいという側面がありますが、大幅な改善は期待しにくいもので限界があります。それだけに会費収入の増加による効果は大きいものがあるといえると思います。会員の皆様ぜひ会員の増強の方もよろしくお願いいたします。

引き続き本年もよろしくお願いいたします。

## ロータリーニュース

### RI 会長からのメッセージ

2017年1月

来たる2017年は、国連の取り組みである「持続可能な開発目標」が2年目を迎える年でもあります。

SDGと呼ばれるこの目標は、経済、政治、社会に関する課題を17の分野にまとめ、世界中の人々が手と手を取り合いながら解決を目指していく内容となっています。

この取り組みは極めて野心的なものですが、それくらいの心構えがなければ問題の解決は困難です。SDGが目指す最終的な目標は、すべて人びとが平和や繁栄、安全、平等を享受できる世界の実現に他なりません。

では、このようなプロジェクトに対し私たちはどのように関

わっていけばよいのでしょうか。ロータリーの答えは単純明快です。それは「一歩ずつ」進んでいく、ということです。

ロータリーは以前からこのような課題に取り組んでおり、既に私たちの重点分野にも反映されています。ロータリーの6つの重点分野のように、SDGの17の分野は互いに関連し合っています。清潔な水がなければ健康は維持できません。衛生環境が整っていないと清潔な水は確保できません。衛生環境が整えば子どもたちは学校へ行くことができ、結果として教育が向上し、ひいては経済の繁栄や健康の向上に繋がるのです。地球全体の進歩を考えた時、指標や目標、国家は孤立して存在することはできません。持続性のある真の進歩を実現するためにも、力を合わせて共に前進していく必要があるのです。

持続可能性という概念はSDGだけでなく、ロータリーの奉仕活動にとっても鍵となる考え方です。持続可能性とはその名の通り、持続するプロセスを作り上げるということです。

例えば、井戸を掘るだけではなく、その井戸を地域社会が維持していけるように工夫します。別の例えで言えば、健康増進運動を開催し、なおかつ現地の医療従事者も育成するのです。持続可能性とはすなわち、家族や地域社会に対して目標達成に必要なツールを提供することで、自分自身の将来に責任を持つ力を与えるということなのです。

持続可能性という概念は、常にロータリーの中心にある考え方です。私たちは112年もの経験を有していますが、今後も活動の幅を広げていきます。私たちのこれまでの活動は、医療や教育、水と衛生、そして言うまでもなくポリオ撲滅において既に結果を出しています。

ポリオ撲滅は、そのプロジェクトが終われば世界に永遠の恩恵をもたらすことになり、それが持続可能な奉仕活動の最終目標であると言えるのです。そしてSDGの達成は、ポリオという人間の疾病撲滅を遥かに凌駕する恩恵をもたらすことになるでしょう。

ポリオ撲滅によるコスト削減額は、毎年およそ10億ドルになると見積もられています。削減分は公衆衛生の予算に還元したり、差し迫った需要に割り当てたりすることができ、今日の正しい行いを、より健全な将来へと繋げることができるようになるのです。

John F. Germ  
2016-17年度会長

### 国際ロータリーのライズリー次期会長が 次年度のテーマを発表

16日（月）、米国サンディエゴで開催中のロータリー国際協議会で国際ロータリー会長エレクト、イアン H. S. ライズリー氏（オーストラリア、サンドリンガム・ロータリークラブ所属）が講演し、持続可能な奉仕というロータリーの目標にとって、環境保護と温暖化抑止が極めて重要であると訴えました。

次期地区ガバナーに向けて講演したライズリー氏は、2017-18年度の会長テーマ「ロータリー：変化をもたらす」を発表しました。

環境の悪化と世界的な気候変動は全人類への脅威であると、ライズリー氏は述べます。

「影響を最も受けやすいのは弱い立場にある人たちであり、そのような人たちこそ、ロータリーが助けていく必要があるのです。それにもかかわらず、環境問題がロータリーで議題に上がることはほとんどありません」

環境悪化は、国連の「脅威、挑戦および変革に関するハイレベル・パネル」によっても主な脅威のひとつとされています。

ライズリー会長エレクトは次のように続けます。「環境の持続可能性がロータリーの懸念分野ではないと言えたのは、昔の話です。今や、環境問題はあらゆる人にとって懸念すべきことです」

会長エレクトはさらに、7月1日の新年度開始から2018年4月22日の「アースデイ」までの期間に、各クラブで会員数と同じ数の植樹をするよう呼びかけました。木を植えることで、空気中から二酸化炭素やそのほかの温室化ガスを除去し、地球温暖化のスピードを和らげる効果があります。

「この取り組みで120万本の新しい樹木が植えられ、環境への良い影響があるでしょう。しかし、それよりもっと大きな影響があると願っています」と会長エレクト。

「それは、この取り組みを通じて、この地球に住む人だけでなく、地球そのものを救う責任がロータリーにはあると、私たちが気づくことです」

## ロータリーの未来を守る

ライズリー会長エレクトはさらに、2017-18年度地区ガバナーに向け、クラブ会員の男女のバランスを改善し、平均年齢を下げるよう求めました。

ロータリーにおける女性会員の割合は、10年前の13パーセントよりは増えたものの、現在も全体の22パーセントにすぎません。このペースだとロータリーが男女均等を実現するまでにあと30年かかると、ライズリー氏は述べます。「私たちの住む世界を反映したロータリーを実現するために、30年も待ってられません。今、これに優先して取りかかる必要があります」

539名の次期ガバナーのうち103名が女性であることに触れた上で、会長エレクトは「地域社会のすべての人とつながり、すべての人を代表し、支援するためにリーダーシップを発揮できる」女性をロータリーが必要としていると述べました。

さらに、現会員のうち40歳未満はわずか5%であり、会員の大半が60歳以上であることにも触れ、若い世代の入会と参加を促す方法をクラブが模索する重要性を訴えました。

「若い会員の入会促進に真剣に取り組まなければ、10年後、20年後にロータリーがどうなっているかを想像してみてください」

会長エレクトはさらに、クラブが独自の決定に基づいて活動できると述べた上で、ロータリーの発展と将来を守っていくには、世界的なチームワークが必要であると力説しました。

「一人ではできないことも力を合わせれば実現できると、私たちは知っています。（中略）このチームワークと協力の精神を忘れずに、地区に戻って実践してください」

## Rotary.orgがモダンなデザインで新しくなりました

ロータリーのウェブサイト (Rotary.org) のホームページと一般向けページがモダンなデザインで一新されました。写真や動画、インフォグラフィック、ストーリーをふんだんに使った新サイトは、「ロータリーって何？」という疑問にわかりやすく答える内容となっています。

一般向けページと会員向け「My ROTARY」の2部で構成されるロータリーのウェブサイトは、これまでも世界中のロータリー会員の活動について、会員だけでなく、入会候補者やプログラム参加希望者、寄付者などに伝えるものでした。新しくなったホームページと一般向けページは、ロータリーを幅広い層にさらに効果的にアピールする内容となっています。コンテンツも整理されて情報が探しやすい、スピードが早くなるなど目に見えない改善も加えられています。

今回のアップグレードが可能になった理由のひとつに、2016年規定審議会で採択された会費増額があります。この決定により、国際ロータリーがクラブと地区に従来よりも充実したサポートができるようになりました。なお、今回のRotary.orgに加え、ロータリークラブ・セントラルや「地区とクラブの運営」ページを含む My ROTARYも更新される予定となっています。

新しくなったwww.rotary.orgをぜひご覧ください。

ロータリーニュース

### ◆カウンセラーの茂木会員宛に、林さんから新年のご挨拶が届きました◆

明けましておめでとうございます。林義晴です。ご無沙汰いたしております。卒業してもう一年経ちましたが、お元気でお過ごしでしょうか。こちらは、地元の福州市で日本語を教えています。まだ勉強中の学生とすでに日本に行っている学生を含めて、もう30人以上います。日本が好きで、日本語を勉強したい人がこんなに多いと思いませんでした。

日本語先生というのは、中国と日本の間にある小さな架け橋のような存在だと思います。大変やりがいを感じています。教師の仕事も自分に向いていますから、これからも日本語先生として、頑張っていきたいと思っています。

またお会いできる日を楽しみにしています。ご家族の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。ロータリアンの皆様にもよろしくとお伝え頂けると嬉しいです。

2014学年度 米山奨学生 林 義晴

### 次回〈1月27日〉の予定

テーマ 「社会の先を見る～世界の秩序転換と日本社会」

元横浜市長 中田 宏 様

(紹介者 青柳 紀 会員)